

Book Review

監修：五十嵐 隆 編集：島袋林秀 執筆：岡本 賢/牧 庸彦/新野一眞

ケースで学ぶ若手医師の AI 活用ガイド



東京医学社
2026 年 1 月発行
200 頁 (A5 判)
3,850 円 (税込)

今や AI は使うべきか使うべきでないかではなく、いかに利用すべきかを考えなければいけない時代だ。そう感じているが、ちょっとハードルが高い、翻訳や要約には使っているけど、それ以上はいまひとつわからない。本書は、そう感じている若手医師や指導医のニーズにタイムリーに応えた指南書である。

小児だけでなく成人症例も含む具体的なケースと豊富なプロンプト例を示し、一般外来や救急外来、病棟業務の助けとなることはもちろんのこと、研修医指導、学会発表、論文執筆にいたるまで、医師の業務全般において AI の利用法を案内してくれる。単なる AI の紹介にとどまらず、「どのように指示すれば有用な回答が得られるか」というプロンプト設計のポイントと、AI の回答例を対比的に示しているため、具体的な利用イメージをもちやすい。「上級医からのアドバイス」もかゆいところに手が届いていて、心強い。同時に、アナログ世代の気持ちも少し垣間見えて、安心できる。

もちろん、AI の限界や注意点にもふれ、過信せず安全に利用できるガイドとなっている。働き方改革が叫ばれる一方で、業務量が増えるばかりの昨今、AI を「良きパートナー」として業務を効率化し、仕事と人生の本質を見失わないようにしたいと願う若手医師と指導医にとって、本書が福音となることは間違いない。

(東京女子医科大学腎臓小児科 三浦健一郎)